

平成 30 年 3 月 30 日

「観光施策に関する考え方」(案)に関するインターネットアンケートの結果について

「観光施策に関する考え方」(案)アンケートにつきまして、市民などの皆さまからご意見をいただき、ありがとうございました。お寄せいただきましたご意見をまとめ、以下のとおり公表します。

I. 意見募集期間

平成 30 年 2 月 23 日～平成 30 年 3 月 14 日

II. 意見の受付方法

インターネットアンケート専用ホームページへの入力、意見回収箱へ投函

III. 意見提出者及び内訳

インターネット 8 人

意見回収箱 2 人

合計 10 人

IV. 集計結果

A-1. ご回答者と枚方とのかかわりについてお伺いします。(最も近いものを一つだけ選択してください)

ア. 現在枚方市に在住又は在職・在学している 8 人

イ. 以前枚方に在住又は在職・在学していた(今は違う) 1 人

ウ. 枚方には在住又は在職・在学したことはないが、知人が枚方に在住又は在職・在学している 0 人

エ. 枚方には在住又は在職・在学したことはないが、よく枚方に行く 0 人

オ. 枚方との接点はなく、行ったこともないが、興味を持っている 0 人

カ. 枚方との接点はなく、興味も特にない 0 人

※未記入 1 人

A-2. ご回答者の年齢についてお伺いします。(一つだけ選択してください)

ア. 20 歳未満 0 人      オ. 50 歳代 1 人

イ. 20 歳代 1 人      カ. 60 歳代 2 人

ウ. 30 歳代 1 人      キ. 70 歳代 2 人

エ. 40 歳代 3 人      ク. 80 歳以上 0 人

A-3. あなたの性別についてお伺いします。(一つだけ選択してください)

ア. 女性 0 人

イ. 男性 10 人

(裏面に続く)

調査B 「観光施策に関する考え方」の案について具体的な意見をお書きください。

いただいたご意見の概要は以下のとおりです。

- ・大阪と京都にまたがる自転車観光ルート整備を行えば、その中間に位置する枚方にも多くの観光客訪問が期待できるのではないかと。
  - ・近辺に京都や大阪といった世界的に有名な観光地があるので、枚方の観光はホテル誘致などによる観光拠点として位置づけすれば良いのではないかと。
  - ・インバウンドへの期待を考えるのであれば、先ず市民の安全な暮らしの確保の点で警察の動員数を上げるなど治安維持の強化をするべきと考えます。
  - ・枚方には多くの歴史が埋まっていると思うが、文献がなかったり、各団体の協力体制がないように思える。枚方市が主導で文化・歴史のことをやっていると思えない。
  - ・古より淀川を利用した宿場町であるわが枚方をもっと世界に広めようとする必要がある。只し一過性ではなく未来に向けた観光地経営体でなければならない。枚方市特有の都市型農業を生かした移住政策（農業体験、民泊）を空き家、放棄耕地等田畑の利活用をしてはどうか。
  - ・近年では、観光は「ONE TO ONE」のダイレクトマーケティングが必要とされている。枚方市及びその近辺の市町村の訪問客のニーズ調査を優先的に行うべきではないかと。
  - ・少子高齢化時代ではインバウンドによる観光施策が地域経済、税収確保には避けられないと考えます。全国でも稀有な天体伝承がある交野ヶ原を活かした観光というキーワードでテーマ型・参加体験型ツーリズムは台湾など親日インバウンド効果が期待できます。当該地域について集中的に観光整備をしてはいかがでしょうか。結果、市民のシビックプライドの醸成や観光ボランティアとしての地域の子どもの教育にもつながると思えます。
- 地政学（地理歴史学）的、文化的に旧交野郡として本来一体である交野市とも協働で施策を実施していくことが市民、観光客から見て統一感がありブランド醸成につながる重要なポイントだと思われまます。エンターテイメントを含め「まちを楽しむこと」が交流人口、定住促進につながる施策だと共感しますので、期待しています。
- ・P8「ネットリテラシー」はメディアリテラシーという表現が適しているのではないかと。これは正しく判断することも含まれている。
  - ・一見客をリピーターにするべく案内所、観光ボランティア、ガイドの充実を企図する。
  - ・遊歩道等を増設し、トイレ設備等を拡充する。
  - ・浴場等を復活し、大衆演芸、コント等を常設すると共に仮眠できる場所を作る。
  - ・お遍路に対するお接待等を市民に根付ける。